

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 481 事業名 観光イベント事業（紀州おどり、和歌祭、スイム駅伝）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
事項		観光イベント事業		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	2	観光客の誘致
取組	2	広域観光の推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H20	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	市川 雅章 (435-1234)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外から観光客の誘致を図る。	和歌祭り：交付先は和歌祭り保存会、交付金額は7,310千円、開催時期は5月第2日曜日 前日に和歌浦漁港朝市と連携して実施している。 スイム駅伝：全日本スイム駅伝実行委員会、交付金額は1,000千円、開催時期は7月初旬 紀州おどり：和歌山市紀州おどり実行委員会、交付金額は12,474千円、開催時期は8月第1土曜日 開催時期は8月第1土曜日、「おどるんや」と同日開催。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○スイム駅伝の開催 ○ドラゴンボートの開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○スイム駅伝の開催 ○ドラゴンボートの開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○ドラゴンボートの開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○スイム駅伝の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○スイム駅伝の開催

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	28,155	28,155	28,155	28,155	25,784	24,784	20,784	20,784	20,054	
伸び率 (%)	-	-	0.0%		-8.4%		-19.4%		-3.5%	
人件費	常勤職員	11,758	10,158	11,758	9,877	18,077	18,477	18,077	18,777	18,777
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,758	10,158	11,758	9,877	18,077	18,477	18,077	18,777	18,777
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	28,155	28,155	28,155	28,155	25,784	24,785	20,784	20,784	20,054	
所要人数	常勤職員	1.48	1.33	1.48	1.99	2.39	2.45	2.39	2.53	2.53
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な予算内訳	紀州おどり開催交付金 12,474千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	イベント開催数				年度目標値	4	4	4	4
					実績値	3	3	3	
	単位	件	全体目標値	4	全体目標達成度	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
成果指標	観客動員数				年度目標値	193,000	193,000	193,000	193,000
					実績値	183,990	178,190	175,000	175,710
	単位	人	全体目標値	193000	全体目標達成度	95.3%	92.3%	90.7%	91.0%
					年度目標値				
					実績値				
					年度目標値				
					実績値				
					年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各種イベントの支援を行うとともに事前の告知、広告活動等を適切に実施することで、市外（県外）からの観光客誘致に取り組んでいく。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	